

初夏の大スタンプラリーを実施

前橋中央通り商店街(振)

組合では、年2回の恒例となっている売出しイベントを5月13～14日に開催、イベントの一貫として大スタンプラリーを実施した。組合員53店舗で500円以上の買い物ごとにもらえるスタンプを3店舗分集めると、商店街で使える1,000円分の金券と交換してもらえるもの。

また、商店街内にある中央イベント広場では、食のイベント「キングオブピッツァ」も開催され、両日、買い物と食事を楽しむ多くの来場者で賑わいを見せた。



配布されたスタンプラリー台紙

「桐生織物記念館の日」を開催

桐生織物(協)

5月20日、桐生織物記念館において、“記念館に来て楽しむ日”としてイベントを開催した。来場者は、反物巻き競争やワークショップでの体験と、庭にずらっと並ぶキッチンカーでの食事を楽しんだ。また、会場ではイベント限定価格での生地のカット販売や工作に活用できる紋紙(ジャカード織機で使用する型紙)をプレゼントした。

桐生織物には和装の帯や着物だけでなく、婦人服などに用いられる洋服地を生産する織物工場があることを、地域の人たちにも知ってもらうため、機屋(はたや)4組合員が企画。イベントを通じて、桐生市の機屋と職人の存在を身近に感じて欲しいと話している。



紋紙を活用したお洒落なインテリアを紹介(左)



桐生織の端切れでリボンタッセル(房飾り)づくり(右)

インボイス制度講習会を旅館の女将が受講

猿ヶ京温泉旅館(協)

6月8日、豆腐懐石猿ヶ京ホテルにおいて、消費税インボイス制度に関する講習会を開催し、各旅館の女将が参加した。講師は税理士の笹尾博樹氏。

免税事業者との取引で留意すべき点を中心に説明。取引先が非常に多い旅館にとって、インボイスにより増える税負担は頭を抱える問題であり、実態に合わせた活発な質疑応答が行われた。講師は「免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置」や「インボイス発行事業者となる小規模事業者に対する負担軽減措置の制度」を解説し、受講者は対応の糸口を学んだ。



熱心に受講、具体的な質疑が飛び交う